

Check List for Writing

□ 「論理の矛盾」がありませんか？

主張 「小学校で英語教育をするべきではない」
理由1 「国語教育の地盤を固めるべきだ」 … ◎
理由2 「中国語の需要が高まっている」 … ×

□ 「論理の飛躍」がありませんか？

主張 「日本人は捕鯨をするべきではない」
理由1 「クジラは賢い動物だからだ」 … △
深掘1 「賢い動物は殺すべきではない」 … △

□ 「論理に欠陥」がありませんか？

主張 「勉強するのは朝よりも夜がいい」
理由1 「夜のほうが記憶に残るからだ」 … △
深掘1 「テスト前に一夜漬けをして対策している」 … △

□ 「論理の混同」がありませんか？

主張 「子供にビデオゲームをさせないほうがいい」
理由1 「小さなうちから体を動かす習慣が必要だ」 … △
深掘1 「ビデオゲームでは姿勢が変わらない」 … △

□ 「単純すぎる一般化」がありませんか？

主張 「日本人はもっと英語を勉強するべきだ」
理由1 「国際社会で生きていくのに必要だ」 … ◎
深掘1 「外国人は日本人よりも英語が話せる」 … △

動詞のルール

- 三人称単数形が主語のとき動詞に「s」をつける。 He **uses** the bike.
- 一般動詞を否定するときは「do(es) not」をつける。 I **do not** use the bike.
He **does not** use the bike.
- 助動詞の後ろには動詞の原形を置く。 can / will / should + **V 原形**
- 前置詞の後ろに動詞をおく場合は動名詞形にする。 on / with / by + **Ving**
- 「(これから)できるようになる」 = 未来+可能 will be able to V
- 動名詞を主語に置く時、動詞は三人称単数形の変化をする。 Ving **is** ….
Ving **enables** ….

形容詞のルール

- 人の気持ちに関する動詞の変化は現在分詞。 He is **excited**.
物の状態に関する動詞の変化は過去分詞。 The game is **exciting**.
- 名詞の前に置くときの語順に注意する a / the / my +形容詞+名詞

名詞のルール

- 特定の個人の話をしないう限り、人の主語には三人称の複数形を使う。 people / students / they
- 特定の1つのものを示さないかぎり、数えられる名詞を扱うときは、一般論を意味する複数形にする。 I like **dogs**.
- 数えられない名詞には複数形の「s」をつけない。 time(時間) / work(仕事)
- 特別な複数形を持つ名詞がある。 people

副詞のルール

- 等位接続詞はSVとSVのあいだにのみ置く。 SV and / but / so SV.
- 従属接続詞は文頭か、SVとSVのあいだに置く。 接 SV, SV. / SV 接 SV.